

2学期が始まりました。感染防止の徹底を。

文責 学校長



～武陵祭にむけて心の距離を密にして協力しよう。～

1 新人水泳競技大会で上位入賞し、九州大会への切符をつかむ。

8月28日(日)にSAGAアクアで「佐賀県高校新人水泳競技大会 兼 末広杯」が開催され、本校の大川内友里さん(1-6)が50m平泳ぎで第1位、永田涼佳さん(2-1)が100m平泳ぎで第3位、200m平泳ぎで第2位に輝きました。2人は、10月1日(土)・2日(日)に沖縄県奥武山水泳プールで開催される全九州高等学校選手権新人水泳競技大会への切符を手に入れました。



2 武陵会東京支部より東京総文祭等に出場した文化部の諸君に激励金が届きました。

この夏、東京で開催された「東京総文2022」や「全国放送コンクール」等に出場したメンバーに対して、武陵会東京支部より激励金が武陵会本部に届きました。8月19日(木)に、武陵会の徳永会長から学校を代表として受け取りました。近日各部・メンバーに贈呈する予定です。東京支部の皆様は、「東京総文祭等に母校の後輩諸君が出場していることを聞いて大いに喜びました。本来なら東京支部のメンバーで直接宿舎に赴いて激励したかったところですが、コロナ禍で応援にも行くことができなかったため、激励の気持ちを是非届けたいとの思いで激励金を贈りました。」とのことでした。後輩諸君の頑張りが、OBの先輩方のエネルギーにもなっています。来年の「2023かごしま総文」への出場をかけた今秋の佐賀県総文祭においても文化部諸君の益々の健闘を祈ります。東京支部の皆様、有難うございました。お礼申し上げます。



3 今週の名言・・・仙台育英高校野球部・須江航監督の言葉です。

入学どころか、多分、おそらく中学校の卒業式もちゃんとできなくて。高校生活っていうのは、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とは全く違うんです。青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部ダメだ、ダメだと言われて。活動してても、どこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で。でも本当にあきらめないでやってくれたこと、でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、全国の高校生みんなが本当にやってくれて。例えば、今日の下関国際さんもそうですけど、大阪桐蔭さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんな時でも、あきらめないで暗い中でも走っていったので。本当に、すべての高校生の努力のたまものが、ただただ、最後、僕たちがここに立ったというだけなので、ぜひ全国の高校生に拍手してもらえたらと思います。

(甲子園優勝監督インタビューより)

【解説】宮城県のみならず、東北としても悲願であった「優勝旗が白河の関を越える」全国制覇を果たした仙台育英高校野球部の須江航監督が優勝監督インタビューの中で「今年の3年生は入学した時から、新型コロナウイルスの感染に翻弄されてきました。それを乗り越えての優勝。3年生にどんな言葉をかけたいですか？」の問いかけに答えた言葉です。全国に感動を呼び、話題になった名言としてここに紹介します。後日の取材では「20年の3月11日に選抜が中止になりました。その次に夏の甲子園が5月20日に中止が決まり、その時は受け入れるしかなかった。大人が何もしてあげられず(選手に)申し訳ないと思い、謝って泣きました。本当に無力で。コロナが起きてからの生徒の頑張りは本当に凄くて、以前にも増して、高校生をリスペクトするようになりました。本当に自分が高校生だったら、どう行動していたか…。中止だらけの世の中で頑張るのはとても大変。それでも頑張るから凄くと思います」と語っています。

【須江航について】さいたま市出身の39歳。仙台育英では2年時から学生コーチを務め、3年時に春夏の甲子園に出場。八戸大(現八戸学院大)でも学生コーチを務めた。06年から仙台育英の系列の秀光中軟式野球部監督を務め、14年に全国大会優勝。18年1月から仙台育英監督に就任し、5度の甲子園出場に導く。情報科教諭。(参考:「Wikipedia」)

4 今週の話成語・・・「小人閑居して不善を為す」【問題】英語で表現すると？

小人物が暇を持て余すと、とかく悪事に走りやすいということ。

【由来】「小人」とは、「君子」に対する語であり、教養や人徳のない人のこと。「閑居」とは、暇を持て余し何もせず日々を過ごすこと。『大学』に「小人閑居して不善を為せば、至らざる所なし」とあるのに基づく。「閑居」は本来「間居」と書くが、現代では「閑居」と書くのが一般的。



5 入試によく出る漢字(その45)・・・センターテスト(1995年度追試験)に挑戦!

- (1) 人間と人間のたたかいやショウ突〔①二国間に緩ショウ地帯を設ける。②部下からショウ細な報告を受ける。③火事による類ショウを免れた。④新しい国家の独立をショウ認する。⑤身元保ショウ人を引き受ける。〕
- (2) 両脚のキン張を透かしつつ、〔①教育の機会キン等が望まれる。②アユ釣りが解キンになった。③腹キンを鍛える運動をする。④父はキン勉な学生だったらいい。⑤隣国とキン密な関係を結ぶ。〕
- (3) 広大な空間リョウ域が広がっている。〔①難題を一刀リョウ断に解決する。②病気の治リョウに専念する。③リョウ心的な行動をこころがける。④新製品のリョウ産体制に入る。⑤仕事の要リョウを先輩から教わる。〕
- (4) 森林、キュウ陵、河原の石も、〔①議事が紛キュウして会議がながびく。②キュウ援物資を被災地に送る。③海岸線に沿って砂キュウがひろがる。④問い詰められてキュウ地に陥る。⑤道路の復キュウ作業が始まる。〕
- (5) 神が人間の前に現身となってケン現するとは、〔①世界平和に貢ケンする。②入国の際にケン疫を受ける。③選手を外国に派ケンする。④努力のあとがケン著である。⑤ケン固な意志で誘惑に勝つ。〕

6 今週の一冊・・・西加奈子の『夜が明ける』(新潮社)です。

思春期から33歳になるまでの友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡を描く、再生と救済の感動作。著者5年ぶりの長篇小説。春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡。まだ光は見えない。それでも僕たちは、夜明けを求めて歩き出す。現代日本に確実に存在する貧困、虐待、過重労働。「当事者でもない自分が、書いていいのか、作品にしているのか」という葛藤を抱えながら、社会の一員として、作家のエゴとして、全力で書き尽くした渾身の作品。(参考：本書裏表紙説明より)



【解説】本屋大賞にノミネートされ第6位となった作品です。これまで紹介した作品の中でも「テスカポリトカ」や「ブラックボックス」などの重いテーマの小説と同様、現代社会の中で貧困層とも言える主人公を採りあげた作品です。「虐待」や「ネグレクト」、「過重労働」など現代社会が確実に抱えているであろう過酷な日常の中で運命に立ち向かいながら生き続けるしかない人々の姿を丁寧に描き出しています。厳しい底辺の社会で奮闘する若者たちの物語で、表紙絵同様、読んでいて辛くなる作品ですが、一筋の光は見えます。

【作者・西加奈子について】1977年、テヘラン生まれ。2004年、『あおい』でデビュー。07年、『通天閣』で織田作之助賞を、13年、『ふくわらい』で河合隼雄物語賞を、15年、『サラバ!』で直木賞をそれぞれ受賞。他に『窓の魚』『きいろいゾウ』『円卓』『漁港の肉子ちゃん』『地下の鳩』など多数。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第70回はラリベラの岩窟教会群(エチオピア)(登録：1978年)

【解説】ラリベラの岩窟教会群は、アフリカのエチオピア北部標高3000mの場所にある世界遺産です。この遺跡がその文化的価値によって世界遺産に登録されたのは、1978年のことです。最初に登録された12件(世界遺産第一号)のうちの一つになりました。エチオピアは、4世紀にキリスト教が伝来して以降、周囲をイスラム諸国に囲まれながらも、アフリカにおいて唯一のキリスト教国です。ラリベラは、ザグウェ朝7代国王ラリベラの命により、12世紀末～13世紀にかけて建造されました。国王ラリベラは、信仰心の篤い王で、12世紀末、聖地であるエルサレムはイスラム教徒の手に渡っていたため、ラリベラを「第二のエルサレム」にするべく複数の教会造営に着手したといわれています。その中でも、世界遺産として認定されているのは、11の教会です。そして、そのどれもが、ザグウェ朝期の文化を知る上で、大変貴重な遺跡であると考えられています。他の教会群からは、少し離れた場所にあり、岩盤を掘り下げて造られており、保存状態も良好で、ラリベラの岩窟教会群を代表する傑作と称されています。一枚岩でできているギョルギス教会は、縦横12m、十字架の形に掘られ、高さも12mあります。屋根が地表と同じ高さであり、その屋根には3重の十字が刻まれています。もともと洞窟だった場所に築かれたアッバ・リバノス教会は、岩盤の側面から削り貫いて造られました。アッバ・リバノス教会は、メドハネ・アラム教会やギョルギス教会など一枚岩でできている教会と洞窟だった場所に築かれたメルクリオス教会などの折衷型といわれています。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)



8 街角グルメを訪ねて・・・第70回は佐賀市の「肥前鯷鮓 翔」です。

佐賀市の県庁に向かう国道通り沿いの左側にあるうどん屋「翔」。リニューアルして、黒ベースのおしゃれな外観に生まれ変わり店名も「肥前鯷鮓 翔」としてお昼時、夕食時は連日行列の絶えない店として有名です。どぶろっくの「どぶいち」で取りあげられてから、さらに人気のお店に。いつも駐車場一杯で断念していましたが、お昼時を外し、夕食時に行くと並ばずに入れました。この日は「よくばり丼定食」を注文。「よくばり丼」とは、エビ天・牛肉・とんかつ・鶏の唐揚げ入り卵とじ丼でした。セットのうどんはきつねを選択し、ごぼう天をトッピング。うどんの麺は初代が作る平麺で、厚みのないうどんではじめて味わう食感でした。だしは息子さんが作る昆布と数種類の鰹節からとった上品な旨味のだしで最後の一滴まで飲み干したくなる美味しさでした。メニューも豊富で、セットメニューもお得で、セットのうどんは大盛り・中盛りが無料でできます。人気でボリューム満点のジャンボかき揚げは、エビが2本入っており、エビ以外には、にんじん、かぼちゃ、玉ねぎが入っています。かき揚げは注文が入ってから揚げるので熱々です。住所は、佐賀県佐賀市西田代1-1-2です。



9 保護者の皆様へ・・・武陵祭はケーブルテレビでご観覧ください。

来週末に開催予定の武陵祭については、感染拡大防止の観点から、昨年度と同様に保護者の皆様の観覧は体育祭のみ3年生保護者2名までに限定とさせていただきます。それ以外の皆様はケーブルテレビの番組配信でお楽しみください。

【英語】◇ dleness is the mother of all evil. (怠惰は諸悪の母である) ◇ An idle brain is the devil's workshop. (怠け者の頭は悪魔の仕事場である) ◇ By doing nothing we learn to do ill. (何もしていない人は悪事をはたらくようになる)

【正解】(1) 衝突〔緩衝・詳細・類焼・承認・保証人〕(2) 緊張〔均等・解禁・腹筋・勤勉・緊密〕(3) 領域〔一刀両断・治療・良心的・量産・要領〕(4) 丘陵〔紛糾・救援・砂丘・窮地・復旧〕(5) 顕現〔貢献・検疫・派遣・顕著・堅固〕